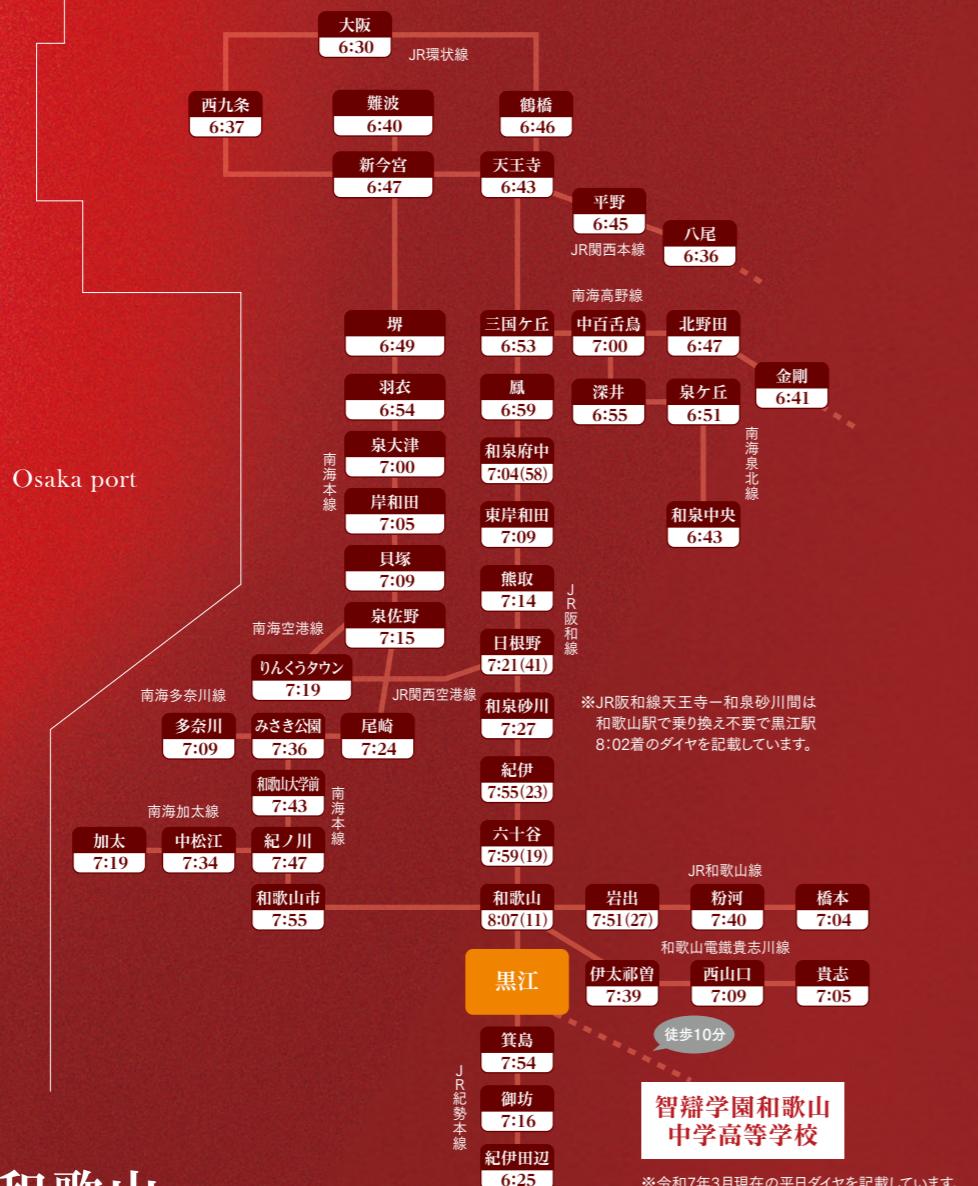




智辯学園和歌山 中学高等学校

中学高等学校



智辯学園和歌山 中学高等学校

〒640-0392 和歌山県和歌山市冬野2066-1

Tel.073-479-2811 Fax.073-479-1190

<https://www.chiben.ac.jp/wakayama>

併設校 智辯学園和歌山小学校



学校HP



1



Instagram



YouTube



- ※和歌山方面、田辺・御坊方面からは「和歌山南スマートIC」でおりてください。
- ※「和歌山南スマートIC」はETC車専用になるのでご注意ください。

2026

Chiben Gakuen Wakayama junior & senior high school

感謝の心と堅い絆

目標に挑戦しています。

生徒一人ひとりが、自分自身の可能性や

教育を通じて心身ともに成長できる環境の中、

智辯学園和歌山中学高等学校。

今後もさらなる挑戦を続けていく

ここで挑む、
自分を超える。

2028年に創立50年を迎え、



そして未来へ

教育目標

誠実明朗

智辯学園が目標とする「人」は

- 1 明朗で知性溢れる人
- 2 不屈の精神と使命感を持つ人
- 3 自己を確立しつつも社会性豊かな人
- 4 この世に生をうけた幸福を知る人

智辯学園和歌山の誕生

智辯学園和歌山中学高等学校は、和歌山県当局の強い要請と藤田照清大僧正の私学教育に懸ける熱意とが釀成し、昭和53年4月に開校しました。設立母体は智辯学園中学校・高等学校であり、「誠実明朗」を教育目標とし、持てる能力の最大開発と、人や物を大切にする心、感謝の心、使命感に燃える人間の育成をめざしています。和歌山県が本学園を招致した所以は、本学園玄関壁の碑文「知事招請の辞」に明記されています。本学園は、設立母体の建学の精神を継承し、さらには大きな前進と発展を使命とします。

MESSAGE



藤田
清司
理事長



児島
伸介
中学校
高等学校
校長

我が子のように生徒を愛する教育

生徒を我が子のように想いや、愛情を持って接する、「愛のある教育」が教育の原点であると考えます。この原点に常に立ち返り、生徒一人ひとりを献身的に支え、「誠実明朗」で心豊かな人間をはぐくむことが本学園の使命です。四十年前、和歌山の地に教育の場を開いて以来、こうした強い想いは変わることなく、具体的な成果をあげています。確かな実績をもとに、今後も教育に取り組み、生徒全員のさらなる能力向上を叶えたいと願っています。

可能性を広げる環境

目標に向かって、日々地道な努力を続けている生徒の姿は美しいものです。そして、そのようにして得られた結果は、たとえ華々しいものでなくとも、正当に評価してあげたいと考えます。本校では、学業はもちろん、部活動やその他の活動においても、生徒、保護者、教職員が一体となって、努力する者が輝ける環境作りを心がけています。豊かな環境の中で、子どもたちは大きく成長していきます。智辯和歌山という最適な環境のもと、私たちとともに、自らの可能性を広げてみませんか。

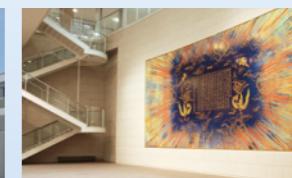
SCHOOL HISTORY

昭和53年 1月	第一回入学試験実施 (於和歌山大学教育学部校舎)	新制服制定
4月	第一回入学式(於海南市立体育馆) 中学82名、高校146名入学	第66回選抜高等学校野球大会 初優勝
11月	校舎第二期工事竣工	第68回選抜高等学校野球大会 準優勝
昭和54年 5月	体育馆竣工	第79回全国高校野球選手権大会 初優勝
6月	竣工式典	藤田清司第二代校長就任
昭和56年 2月	高等学校第一回卒業式	第72回選抜高等学校野球大会 準優勝
昭和57年 2月	校歌制定 (作詞 藤田照清校長 作曲 末吉保雄桐朋大学教授)	第82回全国高校野球選手権大会 優勝
昭和59年 2月	6年一貫教育課程第一回卒業式	国際コースをINCに名称変更
昭和60年 4月	編入コース設置	智辯学園和歌山小学校、第一回入学式 80名入学
昭和62年 4月	国際コース設置	第84回全国高校野球選手権大会 準優勝
昭和63年 1月	藤田照清第二代理事長就任、校長兼務	創立三十周年記念体育馆改築
10月	創立十周年記念式典並建學記念講堂 竣工	藤田清司第三代理事長就任、校長兼務
平成元年 11月	野球専用グラウンド竣工	第90回選抜高等学校野球大会 準優勝
令和3年 8月		第103回全国高校野球選手権大会 優勝
令和7年 3月		第97回選抜高等学校野球大会 準優勝

学校法人 智辯学園



智辯学園中学校・高等学校
奈良県五條市野原中4-1-51
Tel.0747-22-3191



智辯学園和歌山小学校
和歌山県和歌山市冬野2066-1
Tel.073-479-1200



智辯学園奈良カレッジ
(小学部・中学部・高等部)
奈良県香芝市田原265 Tel.0745-79-1111



知力の徹底的訓練を期す



知力を磨くためには、知識を修得するだけでなく、それらを発展的に活用する体系的な思考力を身につけることが必要です。

本学園では1校時を60分とし、週単位時間数や年間登校日数も可能な限り確保しています。特に英語、数学、国語の基礎学力の修得に力を入れています。また、週単位時間数を確保することにより、多様なカリキュラム編成を可能にしています。

さらに十分な時間をかけて授業をおこなうことで高度な内容にまで理解を深め、思考力・創造力を養います。これにより、生徒が望みうる最高の大学進学の実現をめざします。

豊かな心の教育



- 1 「宗教」の時間では、宗教的情操を養い、「人と心」の問題を研鑽する。
- 2 毎月1回「感謝祭」をおこない、四恩（父母の恩、衆生の恩、三宝の恩、天地の恩）に感謝を捧げ、今後の努力と精進を誓う。
- 3 每朝始業前に読経し、心を静め、決意新たに1日の学校生活を開始する。
- 4 あらゆる機会、あらゆる生活の場で、「豊かな人間性」を育み、感謝と奉仕のできる人間をめざす。

教育の目的是人格の完成をめざすことであるため、「心」の教育は大変重要です。本学園では宗教的情操教育を基盤として“豊かな人間性を育む教育”を実践し、美しいもの、すぐれたものに接して感動する心豊かな人間の育成を図っています。そのため、「宗教」を必修とし、履修を義務づけています。そのほか、毎日の読経や月一回の「感謝祭」など、あらゆる機会をとらえ、自分自身を見つめ直します。

教育で結束力を高める！

三位一体の

我が子のように
生徒を愛する教育



保護者
PARENTS

SUPPORT

教職員
TEACHERS



国際人を育てる

国際的な教養と感性、国際平和をめざす強い意思は、これから時代になりますます重要になります。本学園では真の国際人としての成長をめざし、海外交流を重ねています。高校1年3月に「アメリカ・バージニア州」「オーストラリア・ニューサウスウェールズ州」の海外交流校へそれぞれ約20名の希望者を募り3週間の短期留学をおこないます。また同じく、高校1年7月に韓国・ソウルの姉妹校へ希望者を募って研修旅行をおこなうなど他国の同世代の若者との交流を通じて、世界平和の重要性の再認識と国際人としての資質を養います。



体験型学習を通して 自主性・協調性を養う (中高6年一貫コース)

中学校では各学年でそれぞれ宿泊を伴う3泊4日程度の校外研修を実施しています。中学1年では奈良県の曾爾高原(国立曾爾青少年自然の家)で林間学校をおこない、登山や野外炊飯などのプログラムに参加します。中学2年では兵庫県の淡路島(国立淡路青少年交流の家)で臨海学校をおこない、カッターリング研修にチャレンジしたり、伝統文化に触れたりします。いずれも豊かな自然に親しみ、規律ある団体生活を通して、自主性や責任感、リーダーシップを養う貴重な機会です。中学3年は研修旅行として、広島で平和学習をおこなうとともに、瀬戸内海沿岸を周遊し、それぞれの地域の歴史や文化を学びます。

中高6年 一貫コース

5クラス / 215名

(12年一貫を含む)

早期から大学入試を見据え
効率的なスケジュールで学ぶ。

中学・高校の3・3制の分断システムから脱却し、中・高の学習内容を再編成することで、無用な足踏みや無理な疾走、無意味な重複を避けることができます。その結果、可能な部分ができるだけ進めたり、時間をかけるべきときはじっくり取り組んだりするなど、腰を据えての資質開発が可能となります。

成長段階にふさわしい
人間教育で精神面を豊かに。

思春期は精神的に繊細な時期。6年間を通して、一人ひとりに必要な安定した人間教育を可能とするのが6年一貫教育です。安定した環境で学ぶことは、成長段階にふさわしい人間教育につながり、精神面を豊かにする上で重要なことと考えます。



コース紹介

可能性を最大限に引き出し、

小中高12年 一貫教育

2クラス / 80名

のびのびといきいきと
子供たちの夢を育てたい。

1本の教育軸で結ぶ12年一貫教育だからこそできる真の心の教育と、しっかりと基礎学力を総合的に身につけられます。これまで実践してきた6年一貫教育の実績に裏付けられた自信を基に、子供の能力と資質を最大限に伸ばす12年一貫教育を進めています。



編入クラス

1クラス / 45名

豊富な授業時間*で高校課程2年間分を
学習し中高6年一貫コースに合流するクラスです。

中高6年一貫コースの学習進度が1年分先行していることから、編入クラスの生徒は、2年間分の教科内容を学習します。ただし教科内容の精選と授業の効率化を図り、無理なく円滑に中高6年一貫コースの学習進度に合流できるように計画的なカリキュラムを編成しています。また入学前の春期補習や豊富な授業時間の確保など充分なサポート体制を取っています。

*本校は1年間で公立高校の約1.5倍の授業時間を確保しています。

高校2年次から文系・理系に分かれ
最終学年では演習中心で応用力を養う。

編入クラスでは高校1年次に進度補正したあと、中学5年生(高校2年生)で中高6年一貫コースの生徒と合流し、同時に文系・理系のクラス分けを実施します。2年次終了時点では高校の教育課程をすべて修了し、最終学年では大学入試に備えて演習を中心に取り組み、応用力の養成に専念します。



望みうる最高の大学をめざす。

スポーツ コース

1クラス / 10名

全国大会そしてさらに
次のステージを見据えて
社会に貢献できる人材に!

全国大会出場、そして優勝を目指し熱い情熱をもつ精銳たちが集います。引退した後も社会で貢献するために、基礎学力や人間力の養成に努めています。また、積極的なボランティア活動や地域活動をめざし、社会とのつながりを大切にしています。



Course

可能性を最大限に引き出す、

2-3-1システム。

中1

中2

中3

中4 高1

中5 高2

中6 高3

小中高12年一貫教育

2クラス
80名

中高6年一貫 コース 5クラス/215名 (12年一貫を含む)

一期〈中学課程〉

基礎力養成をめざす

6カ年の前期にあたり、中学段階の基礎学力の養成、学習姿勢・学習方法の確立をめざし、総合的思考力の基礎作りとしての訓練をおこないます。



家庭学習を含めた、予習→授業→復習の学習サイクルという学園生活の基本を確立します。夏には指名制の勉強合宿を実施しています。

中学課程を修了し、さらに思考力養成のため、応用問題の演習をします。また、夏には貝塚合宿を実施しています。

高校課程を取り入れ、中学課程を拡張させることで、合理的で効率的な学習が可能となります。夏には希望者で東京大学見学を実施。大学進学がより身近な目標になります。

二期〈中学・高校課程〉

実力養成をめざす

この時期は心身ともに大きく成長する段階です。この時期に6カ年の主要部分である高校段階の基礎固めと実力の養成をめざします。



高校課程は演習によって理解を深めることが大切です。詳しく丁寧な授業に、ふんだんな演習を加えることで確かな実力を養います。

文系理系に分かれて、それぞれが必要な選択科目を履修します。効果的に深みのある学習により、応用力を養います。

三期〈受験対策〉

応用力養成をめざす

6カ年の総まとめの時期として、総合的な実力の養成を図ります。また、多様化する大学の二次試験などを考慮し、各自の目的に合った合理的な学習と応用力の養成をめざします。

全科目、大学受験に向けての演習をおこないます。「夏期講習」「直前共通テスト対策」「二次対策」などで実戦力を身につけます。

中学1年時に
6年一貫コースに全員合流

高校2年時に6年一貫コースへ全員合流

週あたり授業時間数 [60分授業]

中高6年一貫コース

中学校

	国語	数学	英語	理科	社会	他	計
1年	6	6	6	5	3	8	34
2年	6	6	7	5	3	7	34
3年	6	6	6	4	4	8	34

高校

	国語	数学	英語	理科	社会	他	計	
1年	6年一貫コース	6	6	6	5	4	7	34
	編入クラス※1	6	9	8	6	5	5	39
2年	文	6	6	6	4	8	4	34
	理	6	8	6	10	3	4	37
3年	文※2	6	6	6	4	8	4	34
	理※2	6	7	6	8	4	4	35

※1 編入クラスは、高校2年時に中高6年一貫コースに合流します。

※2 小論文対策、リスニング対策、自由英作文対策の授業に加え、文系では社会科二次対策演習を追加し、受講できます。

編入クラス 1クラス/45名



スポーツコース 1クラス/10名



高校からの課程に6年 一貫コースのメリットを生かす

中学5年生で無理なく円滑に6年一貫コースに合流できるよう、計画的にカリキュラムを編成、教科内容の精選と授業の効率化を図っています。編入クラス入学者には、入学前の3月末から補習をおこないます。

引退後の人生も見据えて、基礎学力や人間力の養成に努めています。日々の授業では、正しい学習姿勢、基礎学習の反復を大切に、大学進学後そして社会で通用する知性と教養を身につけることも目標に学習しています。

望みうる最高の大学へ

大学進学
実業団・プロ球団

Learning Points

学びのポイント

独自の学習スタイルで個々の成長を促す。

01 習熟度別クラス編制

全学年習熟度別クラス編制をとっています。生徒一人ひとりの成長速度に合わせて、それぞれに合った授業内容を提供し、個々の能力の最大開発をめざしています。生徒は自分にあったペースで学習に取り組むことができるので、無理なく授業を受けることができます。中学5年(高校2年)からは文系・理系の選択をおこない、それぞれで習熟度別クラス編制をとっています。クラス内には同じ志を持った生徒がたくさんいるので、互いに切磋琢磨し、高め合っていくことができます。

組	中1	中2	中3	中4(高1)	組	中5(高2)	中6(高3)
A	S選抜クラス 合格者	AB組	A組	A組	A	AB組 (理系)	AB組 (理系)
B			BC組	BC組	B		
C			DE組	DE組	C	CD組 (理系)	CD組 (理系)
D	総合選抜クラス 合格者	CDE組	DE組	DE組	D	E組(文系)	E組(文系)
E					E	F組(文系)	F組(文系)
				編入1クラス	F		

※習熟度別のクラス編制のイメージ図 クラスは年度ごとに再編制します。

02 発展的勉強会



放課後には、希望者を対象に「発展的勉強会」がおこなわれています。中学生は大学入試問題にチャレンジし、高校生は模試の過去問の演習などに取り組んでいます。生徒の学ぶ意欲を高めるために、勉強会で扱う問題選びには様々な工夫が施されています。また、演習でおこなった模試は全国での偏差値や順位を算出した結果が返されるので、常に全国レベルで自分の実力を把握し、緊張感を持って勉強に励むことができます。

03 基礎学習支援



大学入試レベルの発展・応用内容に取り組むには、その根幹となる基礎内容の定着が不可欠です。そのため、特に低学年での基礎学習を疎かにすることはあってはなりません。日々の授業内での小テストや放課後の補習など、個々の習熟度に合わせた方法で、基礎学習支援を徹底的におこないます。学習内容に不安のある状態を長引かせないよう、フォローアップの充実を図っています。

04 勉強合宿

基本的な学習習慣や規則的な生活リズムがまだ身についていない生徒数十名を対象に、中学1年生、中学2年生の8月末に宿泊を伴う勉強合宿を実施しています。

集団生活の中で、まずは個々の生活リズムを確立させながら中学生としての自立を図ります。学校や家庭とは異なる環境に身を置き、普段の生活への有り難さを再認識しながら感謝の気持ちを養います。

学習面では、学業に対する自律を促し、英数国を中心とした教科の基礎的指導をおこなっています。この勉強合宿を通して、自主的に学習する方法を学びとり、意欲的に学習する姿勢を養います。

05 選べる 3つの学習環境

一つ目は授業内容の不明点を教員へ気軽に質問できる環境。職員室横に対応スペースを設け、質問に訪れた生徒が内容を深く理解できるまで、教員が何度も教授します。二つ目は生徒が個人で学習に没頭できる環境。図書館には個別ブースを備え、静謐に保たれた室内で自習課題に取り組むことができます。また高校3年生には専用座席を設けています。三つ目は友人同志で教え合い、学び合いができる環境。放課後も自教室を開放し、模擬授業ながらの学びが展開されることもあります。

06 春期・夏期に おける短期集中 講義の実施

全員参加型、指名者型、希望者型の短期集中講義を、夏期休業前後、3月末に実施しています。各教科や学年によって多様な形式で実施され、生徒たちの学習意欲や学力に応じた補習となっています。また中6学年では、大学入試対策を中心とした夏期講習を計3週に渡って実施し、12月中旬より共通テスト対策、2次試験対策など、合格まで手厚く生徒と伴走しています。



中学3年生
河合 理紗

本校では生徒が自分の目標に向かって努力しながら勉強に集中できる環境が整っています。授業でわからないことがあります。先生方が丁寧に教えてくれます。また、自主的に参加する補習もたくさん実施してくれるため、自分のペースで理解を深めることができます。安心して学習に取り組むことができます。さらに、クラブ活動では勉強も両立するために仲間とともに頑張ることで強い絆も生まれます。このように、目標に向かって努力する仲間とそれを支えてくれる先生方と過ごす学校生活はとても充実し、自分自身を大きく飛躍させることができます。



中学5年生
矢代 哲平

この学校には、ここにしかない特別な青春があります。私はプラスバンド部に所属していて、夏の野球応援では、全校生徒が全力で仲間を応援します。生徒の声や自分たちの演奏がグラウンドに響いて、「選手がヒットを打つ」あの瞬間は胸が熱くなって泣きそうになるほどです。そんな熱い夏がある一方で、日常では勉強にも本気で向き合える環境が整っています。先生方は丁寧に教えてください、自分の夢に向かって深く学ぶことができます。心から「この学校でよかった」と思えるかけがえのない場所です。



中学5年生
編入クラス出身
吉原 陽葵

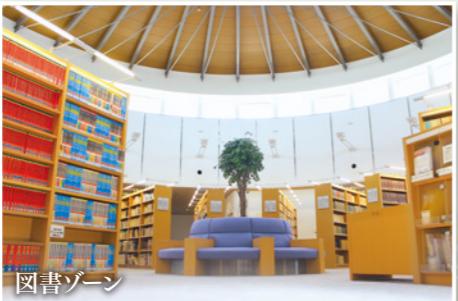
学園にはじめるか不安だった私を、12年制、6年制のみんなは優しく迎えてくれて、すぐに打ち解けることができました。編入クラスでは、授業時間が多く大変ではあったけれど、だからこそクラスみんなで団結し、お互い助け合いながら楽しい一年を送りました。「勉強」というイメージが強いのですが、実際は学校行事やクラブ活動などにも全力で取り組めます。私自身もチアリーダーの活動に励み、とても充実した一年になったと思っています。大切な友達と互いに高め合いながら進んでいくことが、心から楽しいと思える一年間でした。



School Life

学校生活&施設紹介

快適な環境のもとで育まれる豊かな情操



A SCHOOL DAY 生徒の一日



登校

7:15から図書館を利用でき、朝早くから登校して自習に励む生徒もいます。



読書時間

興味・関心のある分野の書籍を読み、幅広い教養を身に付けます。



読経

始業前、御真言御宝号をお唱えし、心を静め、決意を新たに1日のスタートをきります。



午前授業

日々の授業こそ学校生活の基本です。真剣勝負の時間が流れます。



昼休み

愛情たっぷりのお弁当を友達と楽しくいただきます。



午後授業

タブレットを活用して探究活動にも取り組んでいます。



放課後

クラブ活動や補習授業の時間です。図書館の自習スペースで、受験勉強や予復習に取り組む生徒もいます。

校時表 [60分授業]

読書	8:30 ~ 8:40
1限目	8:40 ~ 9:40
2限目	9:50 ~ 10:50
3限目	11:00 ~ 12:00
昼食	12:00 ~ 12:35
4限目	12:35 ~ 13:35
5限目	13:45 ~ 14:45
6限目	14:55 ~ 15:55

※クラスにより7限目(16:05~17:05) や補習授業がおこなわれます。

Event Calendar

年間行事

思い出の数々が未来の自分への力となる



FUN MEMORIES



4 Apr

5 May

6 Jun

7 Jul

8 Aug

9 Sep

10 Oct

11 Nov

12 Dec

1 Jan

2 Feb

3 Mar

- 入学式、始業式
- 新入生オリエンテーション(新入生)
- 鍊成会(高1)
- 身体測定

- 母校訪問(新入生)
- 内科検診
- 中間検査
- 育友会総会
- 球技大会
- 韓国研修プログラム

- 学園創立記念日
- 歯科検診
- 音楽鑑賞会

- 学期末検査
- 林間・臨海学校(中学)
- 三者面談
- 育友会総会
- 高校野球応援

- 留学生来校(韓国)
- 卒業式
- 地区懇談会
- 東大見学(中3)
- 留学生来校(アメリカ)
- 勉強合宿(中1・中2)
- Global Studies Program

- 始業式
- 実力テスト
- 地区懇談会
- 留学生来校(オーストラリア)
- 実力テスト

- 中間検査
- 文化祭
- 教育講演会
- 進学指導会
- 体育大会
- 修学旅行(中5)
- 研修旅行(中3)

- 学期末検査
- 卒業記念陶板作成
- 修学旅行(S2)

- 始業式
- 三者面談
- 終業式

- 入学試験(高校)
- 私立大学入試
- 学年末検査
- 三者面談
- 終業式
- 修学旅行(陸上競技部)

- アメリカ短期留学(高1)
- オーストラリア短期留学(高1)
- 学年末検査
- 三者面談
- 終業式
- 卒業式(中学校)

PICK UP!



高校野球全校応援

甲子園で一体感に包まれる全校応援。選抜高校野球大会と全国高校野球選手権大会、その予選も含めた試合の応援に、全校生徒が参加します。

試合で勝つには、徹底的に基礎練習を繰り返すことが求められ、たゆまぬ努力が大きな成果に結びつきます。この姿を生徒たちは自分自身が進路に向けて取り組む姿に重ね合わせて、懸命に応援することで、選手たちと心でつながり、一体感を感じられるのです。全校生徒が心を一つにして繰り広げられる応援は迫力満点です。この全校応援を通して、生徒たちは誰かのために応援することの尊さや、奉仕の精神を体験できるのです。



オーストラリア短期留学

One of my reasons for going abroad was to learn about life in a multicultural society. At first, it was difficult to understand English, and I could only manage to catch a few words. However, as time went by, I gradually became able to understand more, including Aussie slang. An important lesson my host mother taught me was, "Everyone is different, so we must acknowledge others. To do that, we need to value three things: language, food, and relationships. People eat food to live and create culture, so we should start by understanding food." Also, in Australia, I had many opportunities to experience nature. I saw kangaroos on the main roads, stroked koalas, and admired the stars shining across the night sky. Thanks to many people, including my host family and fellow exchange students, I was able to have a very fulfilling 20 days. I hope to apply what I learned in Australia to my future life.

Club Activities

クラブ活動

仲間と切磋琢磨し 積み上げる輝かしい日々



野球部

春・夏の甲子園で
優勝4回、準優勝5回！

春・夏の甲子園大会出場、優勝をめざし、日々練習に取り組んでいます。学園の模範となる生徒として学園生活にも力を注ぎ、将来のリーダーとしての資質を磨いています。卒業後は、大学野球や、社会人野球・プロ野球で活躍する者もあり、多数のOBが様々なステージで活躍しています。

活動歴

選抜高校野球
大会甲子園
(16回出場)
▪ 優勝 1回
▪ 準優勝 4回

全国高校野球
選手権大会甲子園
(27回出場)
▪ 優勝 3回
▪ 準優勝 1回

国民スポーツ大会
(旧 国民体育大会)
高等学校硬式
野球出場
(9回出場)
▪ 優勝 1回



陸上競技部

2017年創部
全国高等学校駅伝競走大会 男子3回 女子3回 出場！

全国大会出場をめざす陸上競技部。12月開催の「全国高等学校駅伝競走大会」に創部以来男女それぞれ3回ずつ出場し、京都の都大路を駆け抜けています。国公立大学へ進学する者、箱根駅伝をめざして関東の駅伝強豪校へ進学する者もいるなど多様な進路を実現しています。今後も全国高等学校駅伝競走大会、全国高校総体での活躍、また卒業生の活躍に期待が寄せられます。

活動・入賞歴

▪ 男子 第70・71・73回 全国高等学校駅伝競走大会 出場
▪ 女子 第32・33・34回 全国高等学校駅伝競走大会 出場



その他のクラブ

体育部

サッカー／バレーボール／陸上競技
卓球／バスケットボール／テニス
剣道／少林寺拳法

文化部

新聞／プラスバンド／美術／演劇／天文／放送
茶華道／写真／ESS／生物／書道／コンピュータ
箏曲／囲碁将棋／歴史／合唱／科学
競技かるた／文芸／クイズ研究会／数学研究会